

企業 ZOOM UP

第500回

セプト

—多彩な人材を武器にシステム開発サポート

今回紹介する(株)セプトはソフトウェアの設計、開発業者。寺島社長に取材に伺うと、「特徴がないけれど、大丈夫でしょうか」と、謙遜と気遣いの言葉を掛けていただいた。しかし、1990年の創業時から着実な経営を続け、大手企業と安定した取引を続ける当社には、やはりそれだけの秘訣や財産があった。

リーマン・ショック後、多くの同業者がそうであったように、当社も厳しい外部環境にさらされた。しかし、バブル経済の崩壊前夜といった雰囲気では立ち上げられたさなかで、仕事を一気に引き揚げられた事もあり、1社に依存するリスクを肌で感じてきた当社は、多方面に顧客を増やすことでリスクを分散。一方で、好景時に価格条件で良い仕事が増えても、従来の価格で付き合いしている既存顧客を裏切ることなく「浮気をしなかった」(寺島社長)という。得意先のシステム投資が冷え込んだなかでも最低限の仕事までを失わずに済んだのは、ひとえにこうした姿勢の賜物だ。また、例えば飛び込みでの取引の引き合いの電話が来れば、すぐに取引にはつながらなくとも、必ず何かしらのリアクションを返すことも心がける。金融機関や大手の通信業者と長年の取引実績を有する秘訣も、丁寧なアクションの積み重ねにあるのだろう。

今では職人気質のベテランSEや新人など、さまざまな人材を束ねる寺島社長も、以前はSE兼営業プレイヤー。「最初に会社を立ち上げた時は、一人ひとりが独立して営業・打ち合わせから実作業まで完結できてはいました。しかし規模を大きくするにはその体制では限界がある

「我が強い職人気質の技術者を束ねるのは難しい」と笑う寺島社長も、元はそうした職人の一人だったはず(?!)



と、組織として体系付け、そのためには積極的に若い人を育てるべきと感じました」と第2の設立の経緯を振り返る寺島社長だが、自身がフリーのSEとして活動していたころの経験も現在の社長業に生きている。「全部が自分の責任になる。決して甘えが許されず、上司も組織も守ってくれない環境にいたことは、勉強になった」。当時は携帯電話も普及しておらず、公衆電話を見つけてはクライアントへ連絡するなど、フットワーク軽く仕事に取り組んでいたことも財産の1つだ。今でも時間があれば営業現場に行き、それを楽しんでいる。

IT技術が進化して、プログラムやその言語が複雑化するなか、その流れが一段落したためか、時代に逆行するように、数年前のプログラム構成を熟知した人材も重宝されているという。昔も良く知る熟練SEと、新しい時代のSEとの両人材をバランス良く抱える当社。世の中の至るところで陰ながらシステムを支えるセプトのSEは、システム投資が再び活発化するなか、ますます引き合いが増えていくことだろう。

(取材・文/東京支社情報部 下 麻奈美)

会社概要

(株)セプト
 企業コード：981234198
 東京都千代田区神田富山町22-1、電話03-5209-8200
 寺島伸二社長
 設立：1997年4月、資本金：3000万円
 事業内容：システム設計、プログラム開発
 年収高：約6億9700万円(2013年10月期)
 従業員：正社員40名(個人契約30名)
<http://www.septip.co.jp/>